2011年度

科目名	ジェンダー論(総合講座)B				
担当教員	中村　英一朗、日合　あかね				
配当	文　3・教育3・人間3			コード	54054
開期	後期	講時	金曜日4限	単位数	2
授業テーマ	性差に関連する偏見・差別の現状と構造を見つめる。				
目的と概要	「性」は、語りの寡少と過剰の中で、「常識」や「思い込み」というものが充満している。例えば、「性別」には「男性」と「女性」の二つしかない、「セクシュアリティ」には「異性愛」しかないと思い込んでいる人がほとんどである。そこで、本講では、受講者とともに、この思い込みが自分自身や他者および社会全体に与えるインパクトについて検討し、そのような思い込みが生まれる背景・構造を見つめ、これを転換するための方途について考えていく。				
成績評価法	学期末のレポート50%(中村・日合それぞれの課題ごとに提出)、講義時の提出物、受講態度50%で評価する。				
テキスト	適宜指示する。				
参考書	適宜指示する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	毎時講義の中で感じたこと考えたことを「振り返りシート」に自分の言葉で丁寧に記載すること。(中村) 板書を写すだけではなく、しっかりノートを取ること。(日合) 講義内容を踏まえた上で、自分自身の考えを整理すること。(日合・中村)				

講義計画

1)男女平等問題の基本を身近な問題から考え　.		(中村)
2)家事労働について考える		(中村)
3)『女らしさ』や『男らしさ』から同性愛や性同一性「障害」について考えてみる		(中村)
4)何気なく見過ごしている男女の問題に気づく『ちがいのちがい』		(中村)
5)事例で考える～これってDV？・ストーカー？～		(中村)
6)セクシャル・ハラスメントについて		(中村)
7)後期前半のまとめ		(中村)
8)セクシュアリティの問題（その１）	なぜセクシュアリティが問題となるのか	(日合)
9)セクシュアリティの問題（その２）	セクシュアリティに関するジェンダー問題を知る	(日合)
10)ジェンダー問題と性的自由について	ジェンダー問題を性的自由という観点から捉える	(日合)
11)恋愛とは何か	何故恋愛は一対一で行うのかを考察する	(日合)
12)理念と現実社会	理念と現実の社会とのギャップをどう捉えるのか	(日合)
13)性犯罪とジェンダー構造（その１）	性犯罪は本能に基づくものか否かを議論する	(日合)
14)性犯罪とジェンダー構造（その２）	性犯罪に見出すジェンダーの差異について	(日合)
15)後期後半のまとめ	質疑応答	(日合)